

日立照明器具

アーム（電力柱・屋側取付用）

・MDA101 ・MDA102 ・MDA103 ・MDA104
・MDA401 ・MDA402 ・MDA403 ・MDA404

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

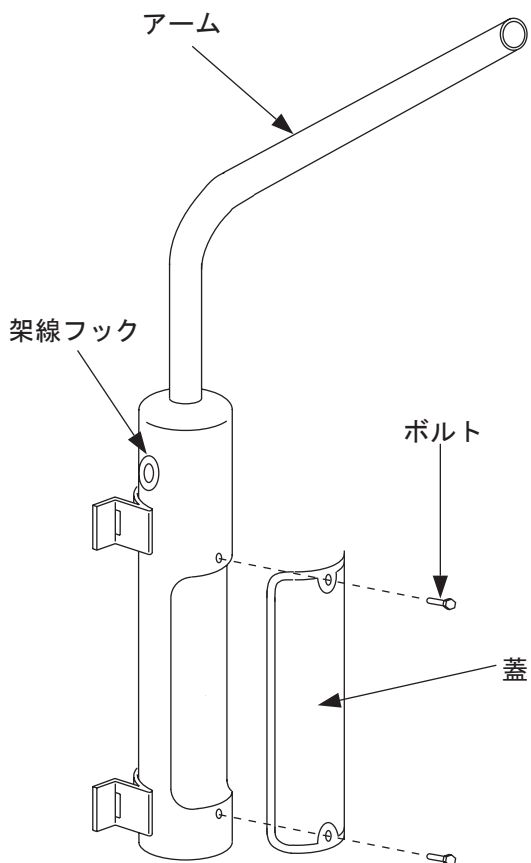
- 施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下の原因となります。
- 振動や衝撃、腐食性ガスの影響を受ける場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 現場での改造や適合器具以外の取り付けは絶対に行わないでください。落下の原因となります。
- アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。（D種接地工事）
アースが不完全の場合は、火災・感電の原因となります。

注意

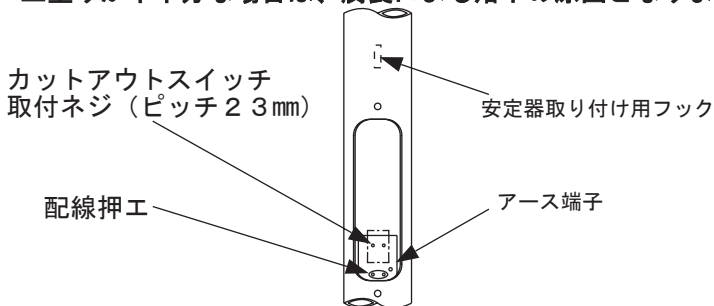
- アームの仕上げは錆止塗装までです。現場で必ず上塗りを行ってください。
腐食による落下の原因となります。
（上塗り塗料は別途ご用意ください。）

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。



1. アームの上塗りを行います。
・上塗り塗料は別途ご用意ください。
・上塗りは確実に行ってください。
2. アームを取り付けます。右上図を参考にして確実に取り付けてください。
取り付けに不備があると落下の原因となります。
3. 電源線を引き込み、安定器（別売）を安定器取り付け用フックに引っ掛けて結線を行ってください。結線時、市販品のカットアウトスイッチを取り付けてください。
4. アーム内に通線し、器具（別売）をアームに取り付け、結線を行ってください。（灯具側取扱説明書参照）
接続が不完全な場合は、接続不良による火災・感電の原因となります。
5. アース端子にアース線を接続してください。
（D種接地工事）
アースが不完全な場合は火災・感電の原因となります。
6. 蓋をボルトで確実に取り付けます。
ボルトの締め付けが不十分な場合は、落下の原因となります。
7. 1～6までの作業で塗装に傷がついた場合は、必ず補修塗りをしてください。
上塗りが不十分な場合は、腐食による落下の原因となります。



電力柱用取付バンド（別売）

電力柱取付用の場合

屋側取付用の場合

品 番	適 合 器 具	取 付 区 分	適 合 電 力 柱 バ ン ド
MDA101	MD14	電力柱取付用	MDB-BT412（幅40、φ370以内）
MDA102	MD14		
MDA401	MD47B		
MDA402	MD47B		
MDA103	MD14	屋側取付用	
MDA104	MD14		
MDA403	MD47B		
MDA404	MD47B		

取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保存してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- アームを改造しないでください。落下の原因となります。
- アームを故意にゆすったり、上に登ったり、ぶらさがったりすることは絶対に行わないでください。
アーム折れ・落下事故の原因となります。
- アームに衝撃を加えたりすることは絶対に行わないでください。
アーム折れ・器具落下の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、器具の取扱説明書の指示にしたがってください。
感電・落下・やけどの原因となります。
- 塗装がはげたり腐食が著しいなどの異常状態のままで使用しないでください。落下の原因となります。
電気工事店等の専門家に修理を依頼してください。

⚠ 注意

- アーム・器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。
素人工事は、法律で禁止されてます。
- ランプ交換、お手入れの際には必ずボルト、ナットの緩み、部材の腐食等も併せて確認してください。
落下の原因となります。
- 3～5年に1回はアームを点検し、不具合がありましたら交換してください。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記に
器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。